

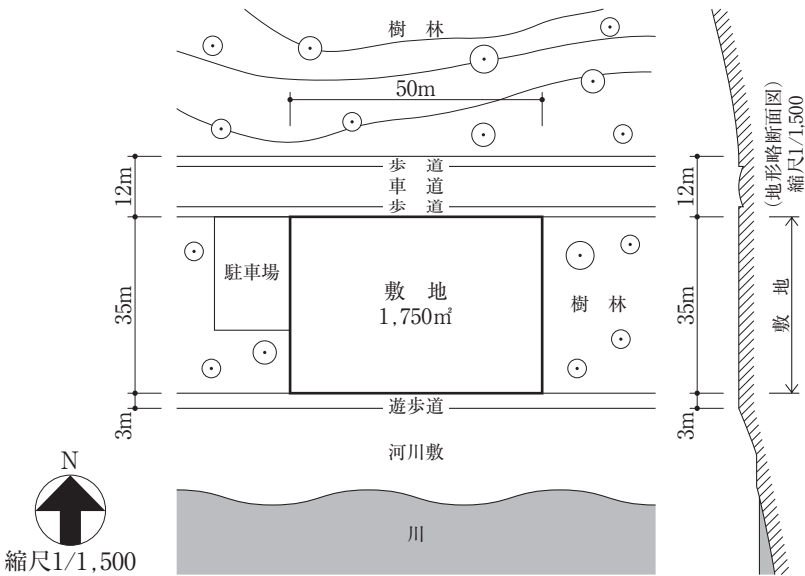
設 計 課 題 大学のセミナーハウス

I. 設 計 条 件

この課題は、ある地方都市の郊外に、学生と教員とが寝食を共にしながら研究、創作及び発表を行うセミナーハウスを計画するものである。本施設は、施設の多目的ルームを地域住民など一般の利用にも開放し、創作活動や技能講習(以下「ワークショップ」という。)の場として、学生や教員が様々な世代との交流や社会貢献の場となるように計画する。

1. 敷 地 及 び 周 辺 条 件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- (2) 敷地は、平坦で、道路、遊歩道との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- (3) 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、主要な屋根は、川(南側)及び前面道路側(北側)に下る勾配屋根とする。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- (6) 川の氾濫、地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建 築 物

- (1) 構造、階数等
構造種別は自由とし、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- (2) 床面積の合計
床面積の合計は、1,600㎡以上、2,000㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- (3) 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室 名	特 記 事 項	床面積	
・エントランスは、道路及び遊歩道からアプローチできるものとする。				
セミナー部門	多目的ルーム	・集会や講習会のほかレクリエーションルームとしても利用する。 ・一般に開放し、ワークショップを開催する。 ・天井高6.0m以上とする。	約160㎡	
	多目的ルーム用倉庫	・多目的ルームに隣接させる	約 30㎡	
	セミナー室A	・学生の合同セミナーや講演会などに使用する。	約 80㎡	
	セミナー室B	・学生の合同セミナーや講演会などに使用する。	約 60㎡	
	情報検索コーナー	・パソコン(3台)を設ける。	適 宜	
宿泊部門	*宿泊部門は、すべて2階に計画する。			
	宿 泊 室 A	・洋室(2人部屋)を3室設ける。 ・バス・トイレ・洗面ユニット付きする。	1室当たり 約 20㎡	
	宿 泊 室 B	・洋室(4人部屋)を3室設ける。 ・バス・トイレ・洗面ユニット付きする。	1室当たり 約 40㎡	
	宿 泊 室 C	・和室12畳以上とし、踏込、下足入れを設ける。 ・バス・トイレ・洗面ユニット付きする。	適 宜	
	講師用宿泊室	・洋室一人部屋を2室設ける。 ・車いす使用者用宿泊室を兼ねる。 ・バリアフリーに配慮したバス・トイレ・洗面ユニット付きとする。	1室当たり 約 30㎡	
	ミーティングルーム	・学生の小グループのサークル活動に使用する。 ・2室に分割して利用できるようにする。	約 30㎡	
	ラ ウ ン ジ	・談話コーナーを設け、自動販売機を設置する。 ・川の景観を楽しめるようにする。	約 50㎡	
	リ ネ ン 庫		適 宜	
共用・管理部門	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・吹抜けを設ける。 ・ラウンジを設ける。	適 宜	
	ロ ビ ー	・学生及びワークショップ参加者が、休憩・談話等に利用できるスペースとする。		
	更 衣 室	・男性用、女性用として各1室設ける。 ・主に日帰り利用者用とする		
	食 堂	・厨房(約40㎡)を設ける。 ・テーブル、いす等を設ける。	約120㎡	
	浴 室	・男性用、女性用として各1室設ける。 ・各浴室に脱衣室を設ける。	計約 80㎡	
	洗 濯 室		適 宜	
	管 理 事 務 室	・受付カウンターを設ける。	約 20㎡	
	宿 直 室	・和室を設ける。 ・バス・トイレ・洗面ユニット付きとする。	約 30㎡	
	職員更衣・休憩室	・男性用、女性用として各1室設ける。	適 宜	
設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気等)、屋外機置場等を計画する。			
・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。				

3. そ の 他 の 施 設 等

- (1) 屋外テラスを、次のとおり計画する。
 - ① 地上に設けるものとし、まとまったスペースで150㎡以上(ピロティ、上部に屋根等がある部分を含めてもよい。)とする。
 - ② 食堂、遊歩道との動線に配慮する。
 - ③ テーブル、いす、バーベキューコーナーを設ける。
 - ④ 建築物へのアプローチに利用してもよい。
- (2) 地上に設ける駐車場は、平面駐車とし、車いす使用者用として2台分、サービス用として2台分を設ける。また、来館者用及び職員用の駐車場については、西側の駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (3) 駐輪場は、施設利用者用として10台分を設ける。
- (4) (1)～(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 北側と南側に広がる良好な景観を、眺望として積極的に取り込んだ計画とする。
 - ② セミナー部門、宿泊部門、共用・管理部門を適切にゾーニングし、施設利用者動線と職員動線とが交差しないような計画とする。
 - ③ バリアフリーに配慮する。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - ② 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - ③ 耐力壁等を設け、耐震性に配慮する。
 - ④ 部材の断面寸法を適切に計画する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
 - ② エレベーターを適切に設ける。
 - ③ 自然採光を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射遮蔽にも配慮する。

II. 要 求 図 書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要 求 図 面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図 面 及 び 縮 尺	特 記 事 項
(1) 1 階 平 面 図 兼 配 置 図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 耐力壁等(凡例にしたがって図示し、凡例にないものを使用する場合は空欄に追加記入する。) ニ. 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ヘ. 断面図の切断位置 ト. 多目的ルーム、セミナー室A及びB、エントランスホール、ロビー、食堂、浴室、管理事務室、宿直室及び設備機械室の床面積
(2) 2 階 平 面 図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 屋外テラス(面積を記入する。) ハ. 駐車場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 通路、植栽、ごみ置場等
(3) 断 面 図 1/200	③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ロ. 宿泊室Aの室名(A1、A2、A3と表示する。) ハ. 宿泊室Bの室名(B1、B2、B3と表示する。) ニ. 代表的な宿泊室A、宿泊室B、講師用宿泊室及び宿泊室Cの室内プラン及び床面積 ホ. 1階の屋根、ひさし等となる部分
(4) 2 階 梁 伏 図 1/200	① 切断位置は、多目的ルームを含み、建築物の全体の立体構成及び屋根形状(勾配屋根)がわかる断面(南-北)とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(5) 2 階 梁 伏 図 1/200	① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使用した場合の断面寸法は、H-○×○のように記入する。

2. 面 積 表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 多目的ルームの計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
 - ② 屋外テラス(食堂及び遊歩道との関係を含む。)の計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
 - ③ 宿泊室の計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
- (2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
 - ② 耐震計画について、工夫したこと
- (3) 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 建築物に採用した空調方式と採用した理由
 - ② 多目的ルームにおける冬期の空調設備計画において、快適な温熱環境を提供する観点から注意すべき点及びその対応策
 - ③ 空調設備、給排水衛生・給湯設備及び電気設備における負荷低減のための「設備方式・手法」及び「その具体的な負荷低減効果」について四つ記述すること